



ねん がつ にち かみもりちゅうがっこうとしまかん  
2026年6月15日 神森中学校図書館

## 6月の読書目標・・・平和に関する本を読もう

梅雨に入り、外でおもいきり部活をしたり遊べない日も多くなっています。そんな時は好きな本を読んで、リフレッシュしてくださいね。

さて、6月は平和旬間があります。図書館でも平和の本や写真パネルを展示していますので、ぜひ足を運んでください。

### としまかんへいわじゆんかん 図書館平和旬間 6/10(水)~6/26(金)

沖縄では戦争でたくさんの方が亡くなりました。6月23日は、その沖縄戦が終わった日とされ、恒久平和と亡くなった方々のご冥福をお祈りする「慰霊の日」となっています。

この機会に、平和について考えてみましょう。



図書委員による平和の本の紹介

『**3年4組**』を  
『沖縄戦の戦争遺品』を  
紹介します。

「あすなろ」や雑誌  
この本は、国吉美さんが30年ほどかけて収集した沖縄戦の遺品の一部をまとめたものである。それらは戦死者の遺書であったり、あるいは兵隊が遺棄した軍用品であったり様々で、沖縄戦当時の様子をより詳しく、より鮮明に感じさせてくれる。  
「遺書が呼んでいるように思える」「遺書が出してくれと告げようように思える」そう思った国吉さんの誠実な心意を、戦争遺品たちが伝えているように、私たちは耳を傾ける必要があるのではないだろうか、を大切に。

過去から学び、  
今の当たり前の日常  
を大切に。



※カラー写真(写真上段)は沖縄県公文書館などが所蔵している白黒写真をAIを活用し、編集のホリーニョさんがカラー化したものです。展示については「若いみなさんにも、ぜひ約80年前の沖縄を観ていただきたいです。」とホリーニョさんが快く承諾してくださいました。

出典：『カラー化写真で見る沖縄』ホリーニョ/著 ボーダーインク

# 平和に関する本を読もう

## 『ぬちどうたから』



真鍋和子/作 汐文社

沖縄戦が終わったことを知らず、ガジュマルの木の上で2年間隠れ続けた兵士。この「実話」を基にした映画も昨年公開されました。

## 『90歳のおば一のゴキゲンなひとり暮らし』



大田吉子/著 KADOKAWA

戦争も貧しい暮らしも経験したでも今をポジティブに生きる吉子さんのエッセイ。戦争のお話が辛くて読めないという人にもオススメ。

## 新着図書案内

### 『エンタメおしごと図鑑』



サンクチュアリ出版

テレビや芸能、アニメ、ゲームや音楽の世界…。みんなを楽しませてくれるお仕事について詳しく説明。

### 6月の分類チャレンジ

300~399

社会科学  
社会のしくみ・学校生活  
いろいろな仕事・民俗学



3類は「社会」「経済」「仕事」「学校」「防災」「文化」など

期間：6/9(火)~6/26(金)

『豊臣秀長』加来耕三/監修 ポプラ社

『こども投資』パトリック・ハラシ/著 主婦の友社

『鉱物と宝石の事典』梅田あいな/著 西東社

『ふしぎ駄菓子屋銭天堂5』廣嶋玲子/作 偕成社

『ぼくらは勝手に回遊する』櫻いいよ/著 双葉社

『横浜ネイバース』岩井圭也/著 角川春樹事務所

『謎の香りはパン屋から2』土屋うさぎ/著 宝島社

『さばの缶づめ、宇宙へいく』小坂康之/著 イースト・プレス

『13歳から鍛える具体と抽象』細谷功/著 東洋経済新報社

『3分間ミステリー 見えない糸』恵莉ひなこ/著 ポプラ社

『それでも必死に、恋をしていた』此見えこ/著 主婦と生活社

『おとなになるのび太たちへ』藤子・F・不二雄/まんが 小学館

『はじめてでもそのまま使える手話会話フレーズ 228』鈴木隆子/監修 池田書店

『知らない間に嫌われる言葉、話すたびに好かれる言葉』つみきち/著 サマーク出版



## おねがい

本は雨にぬれて時間が経つと、カビが生えてしまいます。ぬらしてしまったらすぐに乾かすか図書館に持ってきてください。

また、雨の日を持って帰りたい人は、図書館からビニール袋をもらって、ぬらさないように気をつけてください。

毎週第3日曜日は  
ファミリー読書の日です。

今月は6/21です。

